

## 会 議 記 録

会議名 学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する調査特別委員会

開催日 令和7年12月16日(火) 開会 午後 3時00分

閉会 午後 4時45分

出席者 委 員 委員長 内 海 まさかず

小 平 啓 佑 大 浦 兼 政 針 谷 育 造

青 木 一 男 松 本 喜 一 天 谷 浩 明

広 瀬 義 明 氏 家 晃 白 石 幹 男

関 口 孫 一 郎

議 長 梅 澤 米 満

副 議 長 大 谷 好 一

傍 聴 者 小 太 刀 孝 之 福 田 裕 司

---

地方自治法第100条第1項の規定により出頭及び証言を求めた者

学校法人陽光学園清算人 横 塚 淳

---

事務局職員 事務局長 森 下 義 浩 課 長 野 中 繭 実 子

係 長 小 林 康 訓 主 任 齊 藤 千 明

学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する調査特別委員会議事日程

令和7年12月16日 午後3時開議 全員協議会室

日程第1 証人尋問

日程第2 その他

---

◎開会及び開議の宣告

○委員長（内海まさかず君） ただいまの出席委員は11名で、定足数に達しております。

ただいまから学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する調査特別委員会を開会いたします。

（午後 3時00分）

---

◎諸報告

○委員長（内海まさかず君） 議事に入る前に申し上げます。

本委員会は原則公開といたします。ただし、個人情報や名誉に関わる調査等を行う場合などにおいては秘密会とすること、証人が証言しやすい環境づくりが必要な場合などにおいては傍聴を制限する、また傍聴者の退場をお願いすることがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、本件に関わる資料は、100条調査を行うために提出いただき、本市議会でお預かりしているものであります。したがって、資料を外部に出したり、閲覧させたりすることがないように、その取扱いについてはご注意ください。特に税務情報や個人情報、企業の技術、ノウハウなどが含まれる資料につきましては、その取扱い及び会議におけるご発言にご留意いただきますようお願いいたします。

---

◎議事日程の報告

○委員長（内海まさかず君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

---

◎証人尋問

○委員長（内海まさかず君） 日程第1、証人尋問を行います。

当委員会に付託されました調査項目は、学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する事項であります。

本件について、横塚淳さんから証言を求めます。

ここで傍聴者の方に申し上げます。証人からの申出に基づき、委員長が証人が証言しやすい環境づくりのために必要と判断いたしますので、栃木市議会委員会条例第19条第2項に基づき、報道関係者を除き傍聴人の方々には退席をお願いいたします。

なお、会議の音声をお聞きになりたい方は、隣の委員会室に行ってお聞きいただきますようお願いいたします。

それでは、傍聴者の皆様は、ご退席をお願いいたします。

〔傍聴者退席〕

○委員長（内海まさかず君） 委員各位に申し上げます。本日は、限られた時間の中で証人の方に証言を求めるものでありますので、的確なご発言をいただくとともに、重複した質問は行わないようお願いいたします。

なお、先日お配りした資料にもございますが、証人を侮辱し、または困惑させる質問、誘導尋問、重複する尋問、争点に関係ない尋問、意見の陳述を求める尋問、証人が直接経験しなかった事実について陳述を求める尋問はできませんので、そのような質問については委員長の権限で中止を求める場合もございます。

それでは、能率的な議事進行ができますようご協力をお願いいたします。

なお、報道関係者の方に申し上げます。証人が証言しやすい環境づくりのために必要でありますので、証人の入場及び退場の際の撮影については、これを禁止いたします。

それでは、横塚淳さんに入室していただきます。

〔横塚 淳証人入室〕

○委員長（内海まさかず君） 横塚淳さんにおかれましては、本日はお忙しいところ、ご出頭くださりまして、誠にありがとうございます。本委員会の調査のためにご協力のほど、よろしく願いたします。

それでは、証言を求める前に証人に申し上げます。証人の尋問については、地方自治法第100条に規定があり、またこれに基づいて民事訴訟法の証人尋問に関する規定が準用されることになっております。これによって、証人は原則として証言を拒むことはできませんが、次に申し上げる場合には、これを拒むことができることになっております。それは、証言が証人または証人の配偶者、4親等以内の血族、3親等以内の姻族、もしくは証人とこれらの親族関係にあった者、証人の後見人または証人の後見を受ける者の刑事上の訴追または処罰を招くおそれがある事項に関するとき、またこれらの者の名誉を害すべき事項に関するとき及び医師、歯科医師、薬剤師、医薬品販売業者、助産師、弁護士、弁理士、弁護人、公証人、宗教、祈祷もしくは祭祀の職にある者、もしくはこれらの職にあった者がその職務上知った事実であって黙秘すべきものについて尋問を受けるとき及び技術または職業の秘密に関する事項について尋問を受けるとき、以上の場合には証人は証言を拒むことができます。これらに該当するときは、その旨、お申出をお願いをいたします。それ以外には証言を拒むことはできません。もしこれらの正当な理由がなく証言を拒んだときは、6か月以下の拘禁刑または10万円以下の罰金に処せられることになっております。さらに、証人に証言を求める場合には、宣誓をさせなければならないことになっております。この宣誓についても、次の場合はこれを拒むことができることになっております。それは、証人または証人の配偶者、4親等以内の血族、3親等以内の姻族、もしくは証人とこれらの親族関係にあった者、証人の後見人または証人の後見を受ける者に著しい利害関係がある事項について尋問を受けるときには宣誓を拒むことができます。それ以外には宣誓を拒むことはできません。なお、宣誓を行った証人が虚偽の陳述をしたとき

は、3か月以上5年以下の拘禁刑に処せられることになっています。以上のことをご承知いただきたいと思います。

それでは、法律の定めるところによって、証人に宣誓を求めます。報道関係者を含め、全員ご起立お願いいたします。

〔全員起立〕

○委員長（内海まさかず君） 宣誓書を朗読願います。

○証人（横塚 淳君） 私は、良心に従って真実を述べ、何事も隠さず、また何事も付け加えないことを誓います。

○委員長（内海まさかず君） ご着席ください。

〔全員着席〕

○委員長（内海まさかず君） それでは、宣誓書に署名、押印をお願いいたします。

〔署名、押印〕

○委員長（内海まさかず君） これから証言を求めることになりますが、発言の際には、その都度、委員長の許可を得てされるようお願いいたします。

また、委員及び証人におかれましては、発言の際には委員長の指名後、マイクのスイッチを入れて発言をお願いいたします。その際、座ったままで結構です。

委員の皆様申し上げます。本日は事前に証人に通知した事項について、証人より証言を求めるものでございますので、不規則発言等、議事の進行を妨げる言動のないよう、ご協力をお願いいたします。また、委員の発言につきましては、証人の人権に留意されますようお願いいたします。

ここで証人に証言の際の注意点を申し上げます。本委員会は、地方自治法第100条で定められた委員会で、地方自治法第100条第1項では、当該調査を行うために特に必要があると認めるときは、選挙人その他の関係人の出頭及び証言並びに記録の提出を請求することができるとされています。

また、第3項では、正当の理由がないのに議会に出頭せず、もしくは記録を提出しないとき、または証言を拒んだときは、6か月以下の拘禁刑または10万円以下の罰金に処するとされております。

また、第7条では、証人が虚偽の陳述をしたときは、処罰される規定があり、第9項では、議会は選挙人その他の関係人が、先ほど述べました第3項、第7項の罪を犯したと認めるときは、告発しなければならないとあります。虚偽の陳述を行った場合には、告発しなければならないとされておりますので、証言の際には十分気をつけていただければと思っております。

ちょっと堅苦しいことを言いましたけれども、あったことを正直に答えていただければと思っております。

まず、委員長から所要の事項をお尋ねいたします。

それでは、お尋ねいたします。あなたは横塚淳さんですか。

○証人（横塚 淳君） はい、そうです。

○委員長（内海まさかず君） 現在の職業をお述べください。

○証人（横塚 淳君） 子育て支援センター長兼学童保育室長をやっております。

○委員長（内海まさかず君） それでは、尋問に入りますが、私たち委員は真実を明らかにすることを念頭に尋問させていただきます。証人は事実を述べていただくことになっておりますので、自らの意見を述べることや、知らないことを証言する必要はありません。知らないことは、知らないとお答えいただいて結構です。また、今回証言を求められた事項の範囲で証言していただければ結構です。なお、証人は委員に質問や反論することはできませんが、尋問の内容が不明確であった場合、委員長の許可を得て確認することはできますので、その際にはお申し出ください。

各委員から尋問させていただき、その後、必要なことがあれば私からも総括的または補足的尋問を行います。

横塚証人にあらかじめ通知した証言を求める事項は、学校法人陽光学園の法人運営並びに学童保育事業運営及び学童保育事業に関して学校法人に給付された補助金についてとなっています。

それでは、委員の皆様からお願いいたします。

青木委員。

○委員（青木一男君） 横塚淳さんにおかれましては、大変お疲れさまでございます。

まず初めに、私から質問させていただきます。先ほど委員長のほうでちょっと質問があった部分でもありますが、学校法人陽光学園の現在の役職をもう一度お聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 現在は清算人となっております。

○委員長（内海まさかず君） 青木委員。

○委員（青木一男君） 続きまして、お聞きしたいと思います。令和6年度までの学校法人内での役職と職務の内容をお聞きしたいと思います。令和6年度までということで、よろしくお願ひいたします。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 学校法人の中では理事をやっておりました。そして、学童保育のほうでは、一応園長という名前ではありました。

○委員長（内海まさかず君） 青木委員。

○委員（青木一男君） 学校法人では園長さんということですが、今まで、勤務していた中で、ちょっと踏み込んだ質問をさせていただきます。給与とか報酬とか賞与は、どこから出ていたのかをお伺ひしたいと思います。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） お給料のほうは、ティ・エイチ・エスのほうから振り込まれていました。

○委員長（内海まさかず君） 青木委員。

○委員（青木一男君） 報酬はティ・エイチ・エスさんからということでよろしいですね。

○証人（横塚 淳君） はい、そうです。

○委員長（内海まさかず君） 青木委員。

○委員（青木一男君） 次の質問になります。有限会社チャンプオートの代表取締役社長、佐山和章氏との今までの関わりについてお聞きしたいと思います。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 学童を立ち上げる前の経緯ですと、父と母が同じ場所でひまわり幼稚園を行っていて、ひまわり幼稚園をその前の年の2020年3月31日に休園手続を行いまして、休園をいたしました。その後、その園舎ですとかその場所のものを今後どうしたらよいかということで、私と母で考えていたところ、佐山氏がひまわり幼稚園の卒園児でもありまして、場所がすぐ隣だということだったので、お話がありまして、最初、認定こども園を復帰しながら、またどうにか一緒にひまわり幼稚園を復帰できないかというお話をいただけまして、それでは認定こども園を目指して立ち上げようということで、最後が私の母が理事長だったのですけれども、佐山氏のほうに理事長をお願いしまして、県と町と相談しながら行っていたのですけれども、やはり少子化ということもあって認定こども園に行くまでの間に学童保育事業を立ち上げるのが先にはどうかという話になりました、学童を先に立ち上げて、ひまわり学童クラブとして4月から1年準備期間を経て、翌年の4月からひまわり学童クラブをスタートさせました。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） お世話になっております。幾つか質問させていただきます。

まず、資料の提示を事務局よりお願いいたします。赤いインデックス1の4の陽光学園さんが市に提出をしました事業計画書です。

すみません、資料見ていただいていますか。組織図のところいろんな方のお名前が書かれています。先ほど園長先生のほうはティ・エイチ・エスから報酬を受けていたという話を聞いておりますが、この組織図の中で陽光学園としてお給料をもらっていた方は、実際はいらっしゃるのでしょうか。ご存じだったらお答えいただけますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 私が見た中では、多分ティ・エイチ・エスの支払いだったかと思います。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） あと、先ほどひまわり幼稚園の復活を目指して頑張ろうとしていたとおっしゃっていましたが。実際、学童を先に進めようという話は、どなたが持ちかけられたものでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 当時、私のほうが都内にあります学童保育をお手伝いしていたこともありまして、そういう経緯から学童保育を先に立ち上げようという話になった記憶があります。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 佐山氏が理事長という形になって、横塚さんが園長という形になります。実際、陽光学園に対しての発言力といますか、いろんなアドバイスをお互いしたりする際のそういったパワーバランスというのは、どのような感じで行われていたのか、お話しできる範囲でお答えいただければと思います。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 私のほうが現場の教育という面では、私のやり方をやらせていただけていたと思います。経営のほうは理事長にお任せして、現場は私に任されているというような感じで運営していたと思います。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 我々もいろいろ調査の中で、この後出てくる藤岡校であったり岩舟校の話もあるのですが、当初はうまく子供の数も含めて回っていたということで聞いておるのですが、どこからか急激に子供の数が減ったとか、そういった事態が起きたという事実はあるのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） いいえ、最初立ち上げのときは子供の数が少なかったですが、年々口コミで広がって、評判いただけて、子供の人数は年々増加してきていました。

○副委員長（大浦兼政君） 取りあえず、ありがとうございます。

○委員長（内海まさかず君） 関連ですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内海まさかず君） では、小平委員。

○委員（小平啓佑君） お世話になります。先ほどのお話の中で、経営は理事長、現場は園長というところのお話なのですけれども、陽光学園さんなのか、ティ・エイチ・エスさんなのか、つまり株式会社のほうで運営しているのか、学校法人のほうで運営しているのかというその整理は当時はされていたのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 私の認識ですと、学校法人の中には学童保育はありませんので、あくまでも学童保育は、ひまわり幼稚園が残っているときは、ひまわり幼稚園の学童保育というのは学校法人の下で学童保育とみなされていることは確かですけれども、ひまわり幼稚園が休園もしくは廃園になった場合は、学童保育はあくまでも附随事業なので、学校法人の学童保育ということはないと私は認識しておりました。

○委員長（内海まさかず君） 青木委員。

○委員（青木一男君） それでは、質問させていただきます。

昨日、すみません。ちょっと意見書が出たのですが、有限会社チャンプオート代表取締役社長、佐山和章氏との今までの関わりについてお聞きしたいと思います。

○委員長（内海まさかず君） 青木委員、重複する質問ですので。

○委員（青木一男君） 失礼しました。

次の質問になります。昨日、佐山氏より市議会のほうに意見書が出されました。その意見書の中で、何らかの形で横塚淳さんが訴えられているという内容が記載されておりましたが、そういった何らかの形で訴えられているというのは事実なのでしょうか、そういったことがおありなのか、お伺いしたいと思います。

○委員長（内海まさかず君） そうですね、事実だけなので、横塚証人、そういう事実はありましたでしょうか。ありますでしょうか。

○証人（横塚 淳君） いいえ、私のところには何も届いておりません。聞いていません。

〔「関連で」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 先ほどの訴えられていないということですが、出頭命令が別に今届いているとか、そういう状況でもないということでもよろしいわけですね。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人にちょっと事情を説明いたします。昨日、今ありましたように、佐山氏から議会宛てに百条委員会設置決議に対する意見書というものが上がってまいりました。そして、委員で共有しているのですけれども、その中で横塚淳氏に関して裁判所から出頭命令が決定しているという記述があるのですけれども、これを見るならば出頭命令が出ているのかなというふうに見えるのですけれども。

〔何事か呼ぶ者あり〕

○委員長（内海まさかず君） そうか、出頭命令かどうかということだよな。出頭命令が来ているかどうか、その確認をさせていただければと思うのですが、いかがでしょうか。

横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 私のところには来ていません。

○委員長（内海まさかず君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） ご苦労さまです。天谷です。よろしくお願いいたします。

私のほうから、学童保育事業開始の経緯をお聞きしたいのですけれども、お願いいたします。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 学童保育を始めた経緯は、最初、認定こども園を復帰させようと思い行っていたのですけれども、やっぱり板倉町とか県との相談をしながら進めていたのですが、少子化であったりとか、そういう難しい面がありまして、いずれは認定こども園を復帰させたいなという気持

ちはずっとありましたが、まずは学童保育ならすぐできるということで、学童保育から先に立ち上げました。

○委員（天谷浩明君） その相談をしたのは、県のほうでよろしいでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、板倉町さんに、板倉校は板倉町にありますので、もし認定こども園をつくるのであれば、板倉町さんとのやり取りになると思いますので、板倉町さんと相談してやっていました。

○委員長（内海まさかず君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） では、次の質問に入ります。藤岡・岩舟校に前もって通知している補助金の問題なのですが、補助金が入っていたことを知っていたかいないかということなのですが、いかがでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） これは栃木市のでよろしいですね、天谷委員。

○委員（天谷浩明君） はい、栃木市の。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 栃木市さんから補助金をいただいていたことは知っていました。でも、詳細は分かりません。

○委員長（内海まさかず君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） そうしますと、詳細は分からないということですが、金額についても分かりませんか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、正確な金額も分かりません。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 運営のほうを任せられていたということでございますが、実際子供たちが集まる場所として、こういった改修が必要であるとか、こういった例えば遊具が必要であるとか、こういった部屋が必要である、そういった相談は佐山氏とされた記憶はございますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 元は幼稚園でしたので、やはり子供の大きさとかも違いますし、小学生に合ったものを提供できるようにという私のほうからのお願いはしてきました。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 失礼いたしました、私の質問の仕方も悪くて。では、3つに分けさせていただきます。板倉校と藤岡校、岩舟校、それぞれ全てにおいてそのような相談がありましたか、それとも1か所だけであったとか、そういうことを確認させてください。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 板倉校はそういう相談がありました。藤岡校と岩舟校に関しては、私の相談はなかったです。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 板倉校はもともと幼稚園というか、そういう形で、多分遊具があったり、子供たちが集まりやすい環境であったと思います。藤岡、岩舟に関しては、もともと別の施設を多分利用されたというふう聞いておりますので、そうしますと結構、子供たちがいかに集まりやすい状況、使いやすい状況というのは、経営者ではなく、運営者に相談があつてしかるべきかなとは思っていたのですが、園長以外にこのような相談を受けた方はいそうでしょうか。普通であれば、何か改修に関して相談があつてもいいのかなというふうな今、資料を見ているところなのですが、そこら辺は園長以外に相談をされた方がいるのかを確認させてください。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 藤岡校と岩舟校に関しては、そういう相談、私への相談もなかったですし、ほかに相談することもなかったかという認識を私はしております。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） 学童保育事業を始めるのは板倉校が最初であつて、改修も板倉校ということよろしいですか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、一番最初は板倉校がスタートでした。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） では、先ほどちょっと証言がありましたけれども、板倉校の改修はしてほしいという要求は園長先生からも行ったということよろしいのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 私がお願いして希望どおりの改修を行ったこともありましたし、私がお願いしていないところの改修工事もありました。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） お世話になります。ご苦労さまです。

すみません、確認になるのですが、学童保育を開設しようとしたときに、横塚証人が学童保育をやりたいということがスタートだったのか、理事長のほうから学童保育についての話があったのか、その辺のスタートラインはどちらからだったのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 学童保育だけのスタートは、佐山氏の提案であつたと思います。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） 証人からすれば、それを足がかりに保育園を復活させたいという思いもあつ

た、また休園中の保育園の活動としては、ほかに道がなかったということもあるのかなと考えるところでございますが、佐山氏から板倉校を学童保育開設に利用するに当たって、そこから何か所か施設を広げていきたいというようなお話は当時あったのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 板倉校を設立するときは、ほかに増やすという話は聞いておりませんでした。

○委員長（内海まさかず君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 補助金の話なのですが、板倉校の周辺に何らかの補助金が使われていたということはどうでしょうか。記憶にありますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、板倉校に関しては、詳細はよく分からないのですが、国から新事業を行うときのための補助金をもらったということは聞いています。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 資料の提示をお願いいたします。発言よろしいですか。

○委員長（内海まさかず君） はい。

○副委員長（大浦兼政君） その線の引いてあるところを御覧になって、見ていただければと思います。株式会社ティ・エイチ・エスとして第2回事業再構築補助金というものが募集され、それが採択されたというふうにホームページ、ネット上に出ておりました。ちょうど時期的に重なりまして、事業計画名も放課後待機児童の解消と女性の働き方改革に貢献するというふうに書いてございます。それが、今おっしゃっていた国の経済産業省の補助金となりますが、そちらで間違いはないのかなと感じているのですが、時期的に。そういった話、聞こえた、聞いた記憶はございますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、当時聞いた記憶があります。

○委員長（内海まさかず君） すみません。その事業再構築補助金だという話ですか、それとも補助金をもらうということだったのでしょか、どちらだったのでしょうか。

○証人（横塚 淳君） 両方です。

○委員長（内海まさかず君） かしこまりました。

大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） ありがとうございます。その補助金をいただく際に、工事の相談というのはありましたか。こういったものに、改築に使っていくというふうなものはありませんか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） いいえ、なかったです。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） これは私の知っている情報として、この場で伝えても大丈夫なのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 公にされているもの。

○副委員長（大浦兼政君） 公にされている、これ3分の2が補助金に出るものだと思うのですが、金額はちょっと今の段階ではまだ分かりませんが、板倉町の工事がある程度の改修が進んで、実はこれ……ごめんなさい。では、まず板倉の工事が、どこが受けたかというのはご存じですか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 詳しくは分かりません。

○委員長（内海まさかず君） 本補助金とは少し離れていますので。

大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 分かりました。

では、最初にお答えしていただいた、途中まで、全部工事は完了していないのではないかという話が出たと思いますが、園長先生から見て、そのどこら辺の部分が終わっていないというイメージで今いらっしゃったのかなというのを聞かせていただけますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） エントランス入り口が終わっていなかったかと思います。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 実際、工事が終わっていない状態で、学童は開始はされていたということでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい。

○委員長（内海まさかず君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） ちょっと前後してしまうので、すみません。板倉校の工事についてなのですが、けれども、どのような、また時期的にはどんなふうな時期に始まったのか、分かれば教えてください。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 板倉校は令和4年度から工事が行われておりました。

○委員長（内海まさかず君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） では、内容はどんな感じですか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） トイレの改装ですとか、あとエントランスを新しくすることと、教室も職員室をリフォームしていました。

○委員長（内海まさかず君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） その中でエントランスが終わっていない状況でしたよというのは、お話がありました。ということは、簡単に言うと工事は終わっていないのですけれども、何となく終わった

という時期はどのくらいの時期なのですか。使用開始したあたりでは、もうそうなったような形になるのかなと思うのですが、そんなのが記憶にありますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 板倉校、4月からスタートしていましたが、最初は全く何もしない状態で始まりまして、子供たちがいる間の途中で改修工事がスタートしたという形になりまして、最後の学童、板倉校が閉鎖するまで終わっていませんでした。

○委員長（内海まさかず君） 委員の皆様、少し話題がそれてきておりますので、修正していただければと思います。

天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 資料の中で藤岡校の見積りがあるのですが、ちょっと見ていただきたいと思っています。

○委員長（内海まさかず君） 提示をお願いします。

○委員（天谷浩明君） 待ってください。これは……

〔何事か呼ぶ者あり〕

○委員長（内海まさかず君） では、事務局、お願いします。

天谷委員、これは藤岡の工事の。

○委員（天谷浩明君） 藤岡校の分なのですね、資料としては。

○委員長（内海まさかず君） かしこまりました。

○委員（天谷浩明君） 何かご意見があればお聞きしたいのですけれども。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 内容を見せていただき、板倉校の内容かと思います。

○委員長（内海まさかず君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） もう一回確認します。今、それは藤岡校のお見積りの業者の関係なのですが、今、今の答弁ですと板倉校ではないかということですね。はい、ありがとうございます。

○委員長（内海まさかず君） かしこまりました。

証人に意見を求めることとなりますので、質問はそこで止めていただければと思います。

大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） なぜ関連で聞かざるを得ないのかということでもっとお話しさせていただきますと、こちらのほう、我々が頂いている資料ですと、藤岡校の工事が令和4年4月あたりにはされているだろうという請求書や見積り、そういったものもちょっと見えてくるものですから、令和4年4月、まさに我々がちょうど選挙をやっていた年だった記憶があるのですが、そうですね。

○委員長（内海まさかず君） そうですね。

○副委員長（大浦兼政君） それなので僕らも記憶があつてなのですが、令和4年4月あたりというものであるならば、それは板倉の工事だったということは覚えておりますか。それ何で聞きますかという、藤岡の工事を同時進行していたのかということのをこの後聞きたいので、確認、記憶の呼び覚ましのために、今まず聞いております。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人、分かりましたでしょうか、質問の……

横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 板倉校は長くずっと改修工事をしていましたので、ダブっているかどうかは分からないのですが、板倉は長い間やっておりました。

○副委員長（大浦兼政君） 分かりました。

では、もう一度。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） では、令和4年4月の段階で、藤岡校の工事をしていたということは聞いてはいない、そういう実態は記憶にない、知らないということによろしいのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 私が初めて藤岡校に行ったのは、もう改修後になっているかと思うので、以前の建物とかを私は見ていないので、どこが変わっているかとか、どのような工事をしたかというのはちょっと分からないというか、その前の建物を私は見ていなかったの、藤岡校がスタートしてから私は初めて藤岡校の中に入りました。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） その初めて行ったのは、いつ頃だったか日付は記憶にございますか、大体でも構いません。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 藤岡校は、たしか令和4年11月頃だったかと思います。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） 先ほど天谷委員がシンアイさんの見積書を見せて、直感的にこれは板倉校ではないかと言ったのですけれども、その根拠みたいなのはあるのですか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 板倉校で職員室を改装してましたので、ここに職員室という名前がありまして、あとひまわり幼稚園時代から雨漏りが多くありまして、もう古い建物だったので、雨漏りに大変な思いを、幼稚園時代からありましたので、何回か雨漏り工事をして、学童になってからもしていただいたので、そうではないかなと思いました。

○委員長（内海まさかず君） 針谷委員。

○委員（針谷育造君） お話が前に進むのだから、バックするのだからちょっと分からないのですけれど

も、一つは藤岡校と岩舟校を知った時期というのはご記憶ございますか。

○委員長（内海まさかず君） 開校をということで。

○委員（針谷育造君） 開校、はい。

○委員長（内海まさかず君） 学童が開校されたということですね。

○委員（針谷育造君） はい。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 藤岡校に関しては、令和3年12月頃聞いた記憶があります。岩舟校に関しては、令和5年9月から10月ぐらいだったかと思うのですけれども、その頃、岩舟校の設立を聞きました。

○委員長（内海まさかず君） すみません、開校というのは、営業を始めたということでしょうか、それともそういう次に事業展開をしていくということでしょうか。

○委員（針谷育造君） それでは繰り返し……

○委員長（内海まさかず君） では、私が聞けばいいね。

○委員（針谷育造君） そうです。聞いてください。

○委員長（内海まさかず君） ただいまの質問で、藤岡校と岩舟校の開校というものを営業を始めたというものと、開校しますよというのを知った時期ということに2つ取れるのですけれども、今、証人のほうではどちらの開校というか、営業を始めたのか、それともそういう計画であるよというふうに知ったのか、どちらでしょうか。

横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 計画のほうを聞きました。

○委員長（内海まさかず君） かしこまりました。

針谷委員。

○委員（針谷育造君） そうしますと、計画は3年、5年という形で、実際に営業なり子供たちを集めて事業が始まったというのは、いつだというふうにご記憶でしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人、藤岡校をまずお答えいただければと思います。

○証人（横塚 淳君） 藤岡校は、令和4年11月頃にスタートしたと記憶しています。

○委員長（内海まさかず君） 岩舟のほうは覚えていらっしゃいますでしょうか。

○証人（横塚 淳君） 令和6年4月だったかと思います。

○委員長（内海まさかず君） かしこまりました。

針谷委員。

○委員（針谷育造君） 開始時期、そのように承りました。

藤岡校におかれましては、子供たちの、子供を育てる、あるいは学童保育をやるという日誌等について、藤岡校の場合は、その日誌というのは当然作られているかと思いますが、その日誌

については確認を、あるいは園長先生が作成したという記憶はございますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人、日誌を横塚証人が作られたかどうか覚えていらっしゃいますでしょうか。

○証人（横塚 淳君） 日誌はありましたが、私は作成していないので、ほかの職員が書きました。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） ごめんなさい。再度、今の件で補足で説明させていただきます。実は、藤岡校が4月1日から開校しているという日誌が我々に提示されております。間違いはないですよね。

○委員長（内海まさかず君） そうです。

○副委員長（大浦兼政君） 2枚ぐらいしか出ていないのですが、4月1日付の日誌が存在して、ここに添付されております。そうしますと、先ほど言った開校した時期、実は行政側からも大体同じぐらいの日付なのですが、実質、提出されている資料が4月1日の日報が存在するのです。そこがなぜ存在するのかがお分かりになればと思っています。なぜまだ開所していない、開校していないはずの藤岡校が、4月1日の段階からの日報があるのか、そこが分かるなら教えていただきたいと思えます。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人、分かりますでしょうか。

○証人（横塚 淳君） はい、藤岡校が開設する前から、藤岡小学校やほかの栃木市のお子さんが入所されていたので、藤岡小学校の子供たちも板倉校で一緒にお預かりしていましたので、その当時、4月1日からは藤岡小学校の子供用の日誌と、板倉町の通う板倉町用の日誌ということで書いておりましたので、藤岡校の11月前からの日誌は、板倉校に来ていた子たちの日誌を書いていた。

○委員長（内海まさかず君） 小平委員。

○委員（小平啓佑君） では、その日誌なのですけれども、先ほどの質問でティ・エイチ・エスとしての運営なのか、学校法人としての運営なのかという話とかぶるところがあるのですが、その日誌はどちらの主体で作成されているというご認識でしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 私が関わっていたときですが、私の認識ですとティ・エイチ・エスの社員という記憶はないので、学校法人かと言われたら、附随事業なので学校法人ではないような気がしますし、宙ぶらりんだったかなという……

〔何事か呼ぶ者あり〕

○委員長（内海まさかず君） 針谷委員。

○委員（針谷育造君） 続いてお尋ねしたいと思います。今、藤岡校の話も話題になりましたけれども、藤岡校と岩舟校の関わり具合というのは、園長先生はどんなふうに関わっていたのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 藤岡校に関しましては、私は週一ぐらいにピアノ教室を行っていたので、その生徒さんにピアノ教室を教えるために大体週一、藤岡校のほうに行っていました。そして、岩舟校に関しましては、立ち上がる前のときの保護者説明会で私が保護者説明会に向けての説明を行うという役目で、新しく入ってくるお母様たちに説明をするという機会に参加しました。実際に岩舟校がスタートしたときは、ほとんど行っていませんでした。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） すみません。陽光学園としての申請だという前提で私たちは進めていたものですから確認なのですが、藤岡校、岩舟校の園長という立場はどなたになったのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） それも中途半端というか、私も宙ぶらりんのまま過ごしてきたというか、先ほども言ったように学童は学校法人の附随事業なので、学校法人の学童だとは思っていませんでしたし、あと一つ疑問なのが、なぜ幼稚園ではないのに私が園長という名前がつけられてしまったのかなというのが、今は学童保育も私やっているのですけれども、そこだと名前が室長となっているので、どういうところから園長という役割が来たのかなというのは、私もやっぴながら疑問を持っていたのですけれども、特に否定する必要もなく、学童保育のひまわり学童保育としてのトップというか、長という表しなのかなというふうに私が思っただけであって、正直学童保育なのに園長ってつくのはおかしいのかなとは思っていました。

それで、岩舟校と藤岡校に関しても、特に板倉校もそうですけれども、園長と任命されたわけではなく、藤岡校と岩舟校が新しくなる時も、特に2校の園長だというような命令はなかったのだからかなとは思っていたところでした。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 少しずつそのときの情景が浮かんでくるのですが、週一で藤岡校でピアノを教える際、どのように呼ばれていたのか。例えば、園長という名前で呼ばれていたのか、それとも一つ、岩舟校の保護者説明会の際の紹介を園側からする場合もどのような紹介を受けたのか、記憶があったら教えてください。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 藤岡校のピアノを教えに行っているときは、園長という立場ではなく、職員として行っていました。子供たちからは、どのクラスというか、板倉校、藤岡校、岩舟校の子供たちは、うちの学童の先生方は下の名前で子供たちに教えている、紹介するところだったので、子供たちはみんな私のことを淳先生と呼んでいました。それなので、園長だと子供たちの中で認識があったかないかは分かりません。

保護者の方は、説明会のときに、理事長から職員紹介で園長というふうに紹介はされていたので、保護者の方も淳先生という呼び名でいろいろなお話は、相談は受けましたけれども、改めて

園長だと保護者の方も認識しているかは、ちょっと私のほうは分かりません。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） かしこまりました。

藤岡校、岩舟校では、保護者説明会では園長という紹介はされたということではあるのですが、子供たちや保護者さんは淳先生とって呼んでいた。

それと、これそうなりますと、一応園長という立ち位置って一般の方からすると、それなりの責任者というふうに感じてはいると思いますが、責任があった場合の所在というものは、実際、藤岡校、岩舟校に関してはどのようにご自分では受け取っていたのか、また実際何かある程度責任を取るような、事故とは言わないまでも、何かがあって、何かしらの責任を取ったことという実態はあるのか確認させてください。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） もちろん板倉校含め藤岡校も岩舟校も私が代表だと自分では思っていたので、責任は全て私、現場の保護者の方や子供たちのけがやトラブル等は、私が一番の責任を持って務めてきました。

○委員長（内海まさかず君） ここで1時間が経過したのですけれども、証人のほうで、休憩を挟むこともできるのですが、このまま続行するか、それとも少し休んでからまた始めるか、そうですね、あと二、三十分はかかるのかなとは。

〔「もっとかかるでしょう」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内海まさかず君） もっとかかるような感じはするのですけれども、いかがいたしましょうか。休憩が必要だったら休憩いたしますし、このままで行くというのだったら、このまま行きます。どうぞ。

○証人（横塚 淳君） 休憩は大丈夫です。

○委員長（内海まさかず君） かしこまりました。しんどくなったときには言っていただければと思います。

小平委員。

○委員（小平啓佑君） 先ほど令和4年11月に初めて藤岡校に行かれたというお話だったので、そのきっかけというのは内部でどういうお話があって11月に行かれるようになったのか、そのきっかけというのは何かございましたでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） それは佐山氏のほうが11月から開校するという指示があったので、11月から子供たちを藤岡校に移動するという指示の下で、11月という月が決まりました。

○委員（小平啓佑君） 分かりました。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） では、藤岡校の工事の内容について分かる範囲でお答え願いたいのですけれども、まず11月頃から実際、藤岡校で学童保育が始まったということなのですから、そのときはもう工事は大体終わっていたということなのではないでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、工事中というところはなかったのですが、その前に工事が終了していたのかなと思いました。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） そこで、申請書類の中の中身を見てみますと、タヌマ内装、赤坂解体工業、あとシンアイ、あと神崎電機商会というところの請求書なり書類が出ているのです。まず、最初に聞きたいのですけれども、タヌマ内装、これは見せる、書類を。

〔何事か呼ぶ者あり〕

○委員長（内海まさかず君） 藤岡は。でも、提示していただきたいと思いますので、セットになっている。事務局の方、あそこの中にタヌマ内装も入っておりますので、それでもいいのですけれども。白石委員。

○委員（白石幹男君） ちょっとよくじっくり見ていただきたいのですけれども、かなりロールスクリーンとか多い感じで載っていますけれども、まずタヌマ内装が請求書が4月13日で、工事が終わって領収書が出ているのが4月18日ということなのですから、この時点で工事が終わっているということです。それでロールスクリーンの数がかなり多いのですが、藤岡校の窓というか、窓にロールスクリーンはつけるのだろうと思うのですけれども、数的には合っているのでしょうか、分かりますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人、分かる範囲でお答えいただければと思います。

○証人（横塚 淳君） 藤岡校に関しまして、窓の数、正確な数までは分からないのですけれども、こんなにたくさんの窓はなかったです。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） 本来、クロス貼りとかそういうものは最終段階ですよ。工事の最終段階にやるのですけれども、4月には終わっているのです、この工事が。それで先ほどもシンアイさんの見積書を見て、これは岩舟校だと。

〔「板倉校」と呼ぶ者あり〕

○委員（白石幹男君） 板倉校だと。

○委員長（内海まさかず君） ではないかですね。

○委員（白石幹男君） ではないかと言ったのですけれども、これも何かそんな感じはするのですけれども、板倉校ではこういう工事をやった記憶はあるのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） そういう質問ね。横塚証人、そこに書いてある内容の工事を板倉校で

はやっていますでしょうか。分かる範囲でお答え願えますでしょうか。

○証人（横塚 淳君） はい、板倉校にも窓にロールスクリーンを入れる工事はしてありました。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） では、タヌマ内装からは離れて、先ほどのシンアイさんの見積りというか、請求書です。そこに職員室の改修工事として大黒柱という表現があるのですけれども、分かりますか。大黒柱が実際にあったかどうか、分かる範囲で答えていただきたいのですけれども。

○委員長（内海まさかず君） 藤岡校に大黒柱があったかどうかですね。

横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、藤岡校には大黒柱はなかったと思います。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） 板倉校には、そういった柱がありましたか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、板倉校にもありませんでした。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） それと、トイレの工事なのですけれども、工事というか、我々が調査した範囲の中で、藤岡校の場合、トイレが壊れていたというのを情報をいただいたのですけれども、実際トイレは故障していたという事実はあるのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。開校時ですね、11月か。

○証人（横塚 淳君） はい、藤岡校のトイレが壊れているという相談があった記憶はあります。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） では、それは。

あと、赤坂解体関係ですけれども、工事の請求書を見ていただきたいのですけれども、請求書が4月、これも令和4年5月に請求書が出ていますけれども、4月ですか。この工事、実際、藤岡校で庭石とか樹木とかの撤去費用が入っているのですけれども、これは実際に藤岡校でやられた工事なののでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人、分かる範囲でお答えいただければと思います。

○証人（横塚 淳君） 藤岡校に関しましては、私が行ったときと、その前のところがどう変化されているのかがちょっと分からないので、それが私が行く前にあったものなのか、それとも変化がちょっと私には分からないので、分かりません。

○委員長（内海まさかず君） 白石委員。

○委員（白石幹男君） 市のほうで再調査した時点で、佐山氏からこの部分については板倉校の工事だったというような修正が出ているのです。この赤坂解体工業の請求書は、実際は板倉校での……

○委員長（内海まさかず君） 工事も入っていると。

○委員（白石幹男君） 工事も入っているということで修正が出たのですけれども、板倉校ではこういった工事をやったのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） もうちょっと具体的に聞いていただいたほうが、少々お待ちください。白石委員、もう少し具体的なことを聞いていただければと思うのですけれども。

〔「私からよろしいですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 先ほどの白石委員の説明のとおり、この請求書の中には板倉校の分が入っていたと佐山氏のほうから訂正が入ったということは事実でございます。ただし、私たちも何度も藤岡校に行きました。まず、全てがコンクリートになっている駐車場がメインのところでございますので、まず庭石とか生木という部分が特に生えている場所、生えられる場所というのがないのと、もしあえて庭、生木というのであれば、入り口のところに花壇のようなものはあったのですが、これを見て、板倉校では庭石とかそういった木の処分というものは、実際、これが、この見積りがどうではなくて、庭石をどかしたとか、生木を処分したとかという事実はまずございますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 板倉校には庭石はありませんでしたので、あと木もありますが、そのままの状態です。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） そうしますと、これを見た限りでは、藤岡校なのかも、例えば板倉校だったということも、その証言の分、園長先生として見ても全然分からないということでよろしいですね。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、そのとおりです。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） それでは、岩舟校のほうについてお伺いさせていただきたいと思います。証人は岩舟校のほうにはあまり行っていないというようなお話でしたが、実は岩舟校においても、先ほど藤岡校の植栽等の処理というお話がありましたが、行われております。まず最初に、岩舟校開校前に現地に行かれたことはあったか、まずは確認をさせていただきたいと思います。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、開校前に私が岩舟校に行ったのは、たしか開校前の1月頃に保護者説明会がありましたので、その1月の保護者説明会で初めて岩舟校のほうに入りました。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） それでは、1月に岩舟校に行ったときと、4月からの開校のときに岩舟校に行かれたときと、植栽等について変化は感じられましたか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 特に感じられなかったかと思います。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） それでは、内部のほうについてお伺いをいたします。建物の壁、そして天井、そういったところが、1月の時点と変化が見受けられたと思われるような場所等はございましたか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 私が見た中では、床がきれいになっていたというのは思いました。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） 証人の証言ですと、床がきれいになっていました。これは床、施設内全面にわたってきれいになっていたという認識でよろしいでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、床をきれいにするというふうに言っていましたので、その床を工事しているのかなと私は思っていました。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） 床をきれいにすると言っていたというのは、これは理事長がおっしゃっていたということよろしいですか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、そうです。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） では、理事長が床をきれいにするとおっしゃっていたのは、1月の保護者説明会から4月の開校時の間ということよろしいですか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、そうだと思います。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） それでは、建物等については以上で私からはございませんが、皆様、大丈夫ですか。

○委員長（内海まさかず君） 小平委員。

○委員（小平啓佑君） 今まで栃木市役所の職員に何か相談したり、もしくは職員のほうから聞き取りを受けたということはございましたでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 藤岡校と岩舟校に関しては、最後の年に、板倉町さんもそうなのですが、監査が入りましたので、そのときに栃木市役所の方も板倉校のほうへ来て、監査に来られたときは栃木市役所さんの職員の方に対応しました。

○委員長（内海まさかず君） 小平委員。

○委員（小平啓佑君） それは最後の年というと令和6年度だと思うのですが、令和6年度の何月頃ということですか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） たしか2月の末か3月だったと思います。

○委員長（内海まさかず君） 小平委員。

○委員（小平啓佑君） それですと、令和7年2月、3月あたりということでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、そうです。

○委員長（内海まさかず君） 小平委員。

○委員（小平啓佑君） どのような話をしましたでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 栃木市さんの職員が来られたときは、児童名簿ですとか見せてほしいという書類をこちらのほうで用意して提示した形になります。

○委員長（内海まさかず君） 小平委員。

○委員（小平啓佑君） 名簿ですね。名簿については分かりました。そのほかにお話しありましたか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、藤岡校と岩舟校と全て合わせてというか、子供たちの名簿でしたり、あとほかには職員名簿ですとか、あとは職員の給料明細ですとか、勤務状況ですとか、そのくらいです。

○委員長（内海まさかず君） 小平委員。

○委員（小平啓佑君） 横塚さんのほうからご相談したことはございましたか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 板倉町さんは私が窓口となっていて、栃木市さんのほうの窓口は佐山氏となっていたので、役割分担ではないですけれども、私が栃木市さんと関わることはほとんどなかったです。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） すみません、私は土地、建物のことで、周りに誰か聞く方はいるかということで先ほど申し上げたので、また話を戻らせていただくことになってしまいますが、岩舟校を開校するに当たって、当然ながら様々な備品が必要になってくるわけです。例えば、子供が遊ぶ遊具等もあると思うのですが、今回、私どもの提示された資料の中には、そういった遊具等の記載がございませんでした。岩舟校開設に当たっては、そういったものは一切なかったのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

- 証人（横塚 淳君） 私が岩舟校で見た遊具に関しては、最初、エアで膨らますような大きな滑り台みたいな、ボールプールがついているような室内遊具みたいなのが大きいのが1つ入っていたのは見ました。
- 委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。
- 委員（広瀬義明君） その大きな遊具、これは確証がなくても結構なのですが、今まで板倉校、藤岡校にあったものではなく、新しく設置をされたものということでしょうか。
- 委員長（内海まさかず君） 横塚証人。
- 証人（横塚 淳君） はい、板倉校と藤岡校には、そういう遊具はありませんでしたので、岩舟校だけにありました。
- 委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。
- 委員（広瀬義明君） では、遊具から普通の備品、例えば職員の方の机ですとか、様々なキャビネット的な書類を入れるものとかも当然ながら必要になってくるかと思うのですが、そういったものも全て新しくおそろえになられたということでしょうか。
- 委員長（内海まさかず君） 横塚証人。
- 証人（横塚 淳君） 保護者説明会を行うときは、テーブルとか椅子とかは藤岡校や板倉校から持参しました。
- 委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。
- 委員（広瀬義明君） その持参をされたテーブル、椅子というのは、藤岡、板倉のほうからお持ちになられたということですが、そのお持ちになられた椅子やテーブル等については、ではそのまま岩舟校でお使いになられているということでしょうか。
- 委員長（内海まさかず君） 横塚証人。
- 証人（横塚 淳君） はい、そうだと思います。
- 委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。
- 委員（広瀬義明君） ありがとうございます。岩舟校開設に当たっては、カラー複合機、大きなコピー機みたいなやつです。あれも購入をされていらっしゃると思いますが、開設当時、証人が覚えている限り、そのコピー機が岩舟校で使われていたのを見たことがございますか。
- 委員長（内海まさかず君） 横塚証人。
- 証人（横塚 淳君） コピー機は見ていないです。
- 委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。
- 委員（広瀬義明君） コピー機と併せて、パソコンが4台お使いになるということで購入をされております。たしか学童保育というか、放課後支援事業というか、おやりになっていらっしゃるカリキュラムの中にパソコン教室というのもあったので、そういったものにお使いになれるのかなというふうに考えていたところなのですが、実際に岩舟校においてパソコンが4台常時使われていた

という認識はございましたでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、私が受けた説明ですと、新しくパソコンを入れる前では、まだ入らないので、新しいものが入るまではノートパソコンを1台持ち込んで、パソコン教室を行っていました。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） 確認をさせていただきますが、証人が岩舟校でパソコン教室を担当されていたということよろしいのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） いいえ、私はパソコンの担当はしていないので、パソコンの指導はしていませんでした。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） それでは、パソコンを別の方が担当されていたということで、岩舟校が開設をされていた当時、まだパソコンが入っていなかったということよろしいのですね。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、そうです。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） それでは、外部からカリキュラムを受けていらっしゃる学童の子供たちが使うのに間に合うだけのパソコンを、その日に合わせて持ち込んでカリキュラムをこなしていたというのは大変ご苦労もあったのだらうなと思いますけれども、いつ頃そのパソコン、Tech Design様のほうからもう既に4台をとっくの昔に購入されていたはずのパソコンが、不思議なことに岩舟校にはなかったのが不思議な話なのですが、どこかで箱のまま置かれていて、持ってくるのが大変だったのかもしれませんが、証人が知る限りでは、岩舟校にパソコンが新しく配備されたという話は聞いていらっしゃらなかったということよろしいでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 私は見ていなかったです。

○委員（広瀬義明君） はい、結構です。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 幾つか確認させていただきます。先ほども見ていただきました事業計画書の中には、パソコンクラスというものがございます。先ほど私ではないとおっしゃっていましたが、パソコンを教える先生というのは山崎吉雄さんというふうになっておりますが、間違いありませんか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 板倉校の当初は山崎先生が来て、子供たちにパソコンを教えていましたが、藤岡校と岩舟校に関しては山崎先生は行っていなかったかと思います。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 先ほどの広瀬委員からの質問にもありました。岩舟校に関しましては、テーブル10台、椅子20脚が納品されているということになっています。ただし、説明会におきましては、藤岡校や板倉校から持っていったという話もあります。それだけの大人数であったのか、どのくらい的人数で、実際、椅子20脚、テーブル10台では足りなかったという認識なのか、それとももともとないのでお届けしたのか、どちらなのでしょう。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） もともとが全くない状態だったので、必要な分だけ持っていきました。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） このテーブル、椅子、実際に納品されたという形になっています。支払い証明書もいろいろ出ていると思うのですが、もし岩舟校でないならば、どこかへこれが納品されている可能性というのは何か聞いたことはございますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 板倉校には入ってきている事実はない記憶はあります。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 分かりました。では、板倉校にも藤岡校にも記憶はないということで、了承いたしました。

あと一つ、また事業計画書の中で幾つか質問します。事業計画を行うための実施体制というものがございます。そこでは、旧ひまわり幼稚園の園長並びに保育士を採用すると書いてあります。また、学習塾の塾長に中村昭雄さんなのかな、ここには前大東文化大学副学長、また講師に宮崎晃夫さんなのかな、前中学教師となっております。こちらのまず中村先生、宮崎先生は、今、お仕事されている状態なのでしょうか。今の状況をお分かりでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 中村先生に関しましては、私と一緒に退職しましたので、今は携わっていません。宮崎先生に関しては、私が退職後も多分現状、残っているかと思うのですが、退職後は会う機会もなかったので、現状は正確には分かりません。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 日報を見ますと、板倉校、子供の数それなりにいらっしゃったと私は認識しているのですが、旧ひまわり幼稚園の園長並びに保育士を採用するということですが、新たな採用なしで藤岡、岩舟まで回った、そしてまた、それに関して何か問題が起きたことはございますか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 岩舟校と藤岡校の設立に当たり、現状の職員では足りないとは思っていましたが、それも本人に希望は言いました。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 結果はどうなりましたか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 希望は言いましたが、新しい先生は入れてもらえませんでした。

○委員長（内海まさかず君） 大浦副委員長。

○副委員長（大浦兼政君） 実際、それで回ったのですか、それとも大変な思いをされたのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 岩舟校に関しましては、元いた藤岡校の職員が岩舟校に行くようにと言われ、藤岡校からの職員が岩舟校に行きました。板倉校の私たちの職員が、ほとんどベースが板倉校にいましたので、手伝いに行くという形の感じで岩舟校と藤岡校には行っていたので、それぞれは大変だったかと思います。

○副委員長（大浦兼政君） 分かりました。

○委員長（内海まさかず君） ほかにございますでしょうか。

広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） 藤岡校、岩舟校開設に当たり、先生の移動や予算づけ等、様々なことがあるかと思うのですが、それらの全ての決定権というのは、やはり理事長がされていたのでしょうか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） はい、そうです。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） たくさんの先生方がいらっしゃったかと思います。現場を見て改善とかそういったことが当然ながら日々出てくるかと思いますが、そういったものはきちんと理事長のほうに上げられていたのか、それに対する改善案もしくはきちんとした改善というのが理事長の指導で行われていたのか、お伺いをいたします。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） 最初の板倉校の立上げのときは、本当に佐山氏もよく学童のほうに足を運んでいただけだったので、一緒に立上げということで、私も相談を聞いていただけましたし、一緒につくっていくという形だったので、要望とかも聞いてくれていました。でも、藤岡校、岩舟校の設立ぐらいには、あまり板倉校のほうには来なかったので、話す機会も減っていきましてし、こちらの要望も言いづらいというか、言っても聞いてくれる面と、聞いてもらえない部分はありました。

○委員長（内海まさかず君） 広瀬委員。

○委員（広瀬義明君） その点につきましては企業間の内部のことでございますので、様々なことがあるかと思いますが、私が証人にお聞きしたいのは、学童保育を開設するに当たって、佐山理事長が子供たちに対して熱意のある方だと当初おっしゃっていた栃木市役所の職員の皆様もいらっしゃるわけですが、証人が理事長とお会いになった当初は、やはり熱意のある方だというふうに思われていらっしゃいましたか。

○委員長（内海まさかず君） 横塚証人。

○証人（横塚 淳君） とても子供たちにも一緒に教育に力を注いで、熱い思いがあったと思います。

○委員長（内海まさかず君） ほかにございますでしょうか、委員の皆様。

針谷委員。

○委員（針谷育造君） 非常に子供が好きで、そういう子供たちの教育に熱心だったと佐山さんについて証言ありましたけれども、今の、現在の先生のお心というのは、どんなふうに佐山さんを御覧になっているのでしょうか。大丈夫ですか。

○委員長（内海まさかず君） 意見になりますよね。大丈夫ですか、質問。

○委員（針谷育造君） では、変えてください。

○委員長（内海まさかず君） では、別にお答えなさらなくて大丈夫です。

ほかに皆様ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内海まさかず君） では、これで終わりたいと思います。

以上で横塚淳さんに対する尋問を終了いたします。

横塚淳さんにおかれましては、長時間にわたり誠にありがとうございました。

ここでご退席をお願いいたします。ご苦労さまでした。

〔横塚 淳証人退室〕

---

### ◎その他

○委員長（内海まさかず君） 次に、日程第2、その他に入ります。

皆様の中でご協議の事項がありましたら、ご提案いただければと思いますが。

〔発言する者なし〕

○委員長（内海まさかず君） ないですね。

---

### ◎閉会の宣告

○委員長（内海まさかず君） では、以上をもちまして当委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

(午後 4時45分)